

GHG排出量算定・可視化ソリューション



このような
課題は
ありませんか？

- GHG(スコープ1~3)の算定、可視化に苦戦している
- サプライヤーからの一次データ収集が進まない
- 国内環境法令と金融市場向けの開示で多重管理が発生
- 可視化はできたけれど、どこから削減すれば良いかわからない



Scope 1-2算定の効率化、Scope 3算定の高度化・削減管理ができるソフトウェアです



Point 01

活動量をデータ連携・入力するだけでGHG排出量を算定・可視化



Point 02

算定の高度化や工数削減、ガバナンスの強化に繋がる豊富な機能

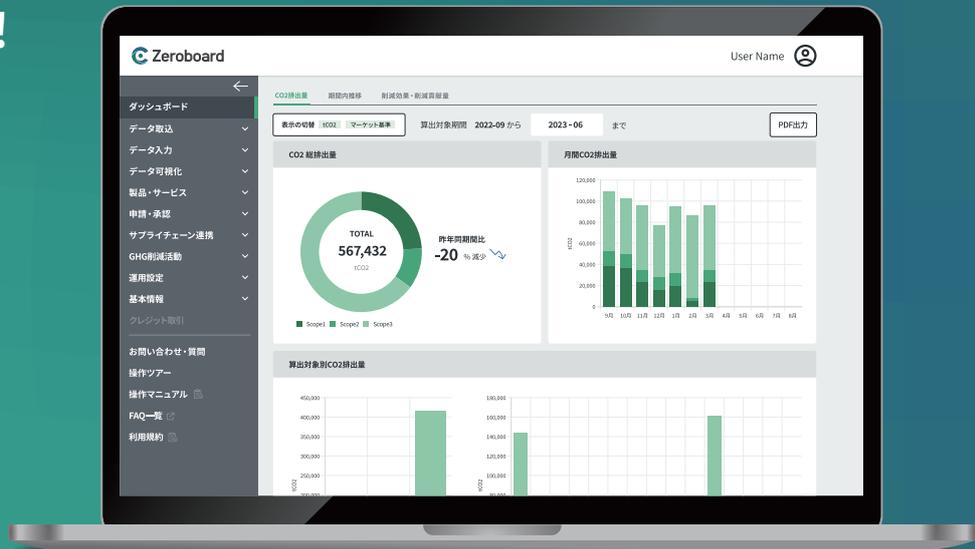


Point 03

省エネ法や温対法等のレポート機能

業界随一の導入企業数!

導入企業数
2,600社以上
グループ企業含む利用数
6,000社以上



多くの業界トップランナーにご利用いただいています



※2024年6月1日現在

- よくあるご質問 -

Q 全く知識がない担当者でも操作可能ですか?

A 入力のガイドがついていますので、算定のロジックを理解しながらお使いいただけます。

Q どのような業種のクライアントが多いですか?

A スcope 3の算出を精緻化したい製造業の方や、多拠点展開されている業種の方が多いです。

Q サポート体制はどのようになっていますか?

A メールでの問い合わせの他、Webや電話での対応が可能なプランもご用意しています。また定期的に算定基礎講座や操作説明のウェビナーを実施しサポートさせていただきます。



- ISMS (ISO27001)
- 認証取得組織：株式会社ゼロボード
- 認証登録範囲：CO2排出量の算出・可視化から削減のためのソリューション提供に関するクラウドサービスの開発提供
- サステナビリティ経営におけるコンサルティング



- 妥当性確認対象範囲：GHG排出量算定・可視化クラウドサービス「Zeroboard」(2022年1月リリース版)
- 妥当性確認概要：ISO14064-3に準拠したSOCOTECにおけるGHG情報システム保証手順に基づいて基準を満たしていることの妥当性確認を実施

Zeroboardの資料請求はこちら

